

# ボランティア体験スタッフマニュアル

## ■ボランティア体験とは

以下の目的で、ふじこが目指しているこどもの成長機会の一環としておこなっています。

- ・他者との信頼関係を築いてともに物事を進めていく中で、コミュニケーション能力や自発性・行動力・自立心を高めるなど、学校では学べないことを体験する
- ・ボランティア活動を通じて、お金などの対価を目的とせず、人のため・社会のために役に立つことの意義ややりがいを知り、思いやりの心を育むキッカケとする

## ■体験者と担当者

- ・体験者…ボランティア体験として、スタッフ研修および本番へ参加  
※参加条件…キャンプ等のイベントの参加経験が3回以上ある6年生～中学3年生
- ・担当スタッフ…体験者の希望（性別だけの指定や個人指定など）を考慮しつつ、リピータースタッフかつスタッフ研修参加者から選定

## ■体験者に任せる業務・サポート方法 ※★印は必ずやる、その他は相談の上で決定

- ★全体遊びの補助（スタッフ逃走中・押し花作り・うどん作りなど）
- ★選択遊びの見守り（工作・お菓子作り・外あそび・体育館あそびなど）
- ★写真撮影（専用携帯を貸与）※自分の携帯を持っている場合も貸与携帯を使用する
- ★写真 BLOG 更新(文章作成・写真選び)
- ★班の話し合いでファシリテーター（カレー作りの役割決め、班別プログラム、1日のふりかえりなど）
  - ・食事系の補助（スタッフだけで作る料理の調理補助・食材準備）
  - ・進行系の補助（プログラムの簡単な説明）
  - ・雑務系の補助（備品準備・片付け）

## ■担当者の役割

- ・常に担当スタッフが付き添って指示・フォローを行い、必要に応じてコアスタッフと交代する
- ・体験者に対して反発する子・茶化す子等がいれば厳しく注意する
- ・その他、問題点・要望などあればすぐに報告する
- ・体験者の写真・動画を忘れずに撮る（いつも忘れがちで写真が少ないです）

## ■こどもの見守り方

- ・常に通信簿（能力・対応）のことを意識して見る（良い点も悪い点もたくさん探す、特に消極的な子は意外と評価するのは難しい、研修からの本番までの成長を見る）
- ・苦手な点（コミュカ）等は頑張れるようにどんどん促してあげる（こども・スタッフ・異性に話しかけるように促す等、特に研修でダメだったところ、最初は自発性も見ること）
- ・気付いたことは忘れないうちにメモしておく
- ・どんな些細なことでも相談・報告

## ■通信簿評価

家庭・学校生活からは分からない本人の性格・能力を発見するため、体験終了後に通信簿を発行します。以下の項目についてスタッフ全員から意見を聞くので、そのつもりで体験者を見守ってあげてください。

評価項目…発信力、自主・自立、協調性、創意工夫、取組み姿勢、社会性、社会・職業への関心、責任感、思いやり、公共心・公德心、集中力、意欲、コミュニケーション能力など

評価方法…最終日前夜のスタッフMで全スタッフからヒアリング後、担当スタッフと相談して評価

## ■その他スタッフへのお願い

- ・体験者が困っているところを見かけた時は担当者かコアスタッフへ伝える
  - ・周りの子とトラブルになっていた時にはフォローする
  - ・やることが分からない様子であれば担当者に相談するよう促す
  - ・体験者に手伝って欲しいことがあれば担当者かコアスタッフへ必ず言う
  - ・**体験者の写真・動画を忘れずに撮る（いつも忘れがちで写真が少ないです）**
- ※担当者だけでは体験者のすべてを見きれないので、スタッフ全体で見守り、何かあった時には担当者にすぐ伝え、体験者が困ったり、うまく動けないという事がないようフォローをお願いします